

bizhub C3110

ユーザーズガイド ファクス機能編



もくじ

1 ファクス機能について

2 ファクスの準備（管理者向け）

2.1	準備の流れ	2-2
2.2	お使いになるために必要な作業.....	2-3
	モジュラーケーブルの接続を確認する.....	2-3
	お使いの電話回線の種類を指定する.....	2-3
	構内回線（PBX）環境で使うための準備をする.....	2-3
	ファクスの受信方法を選ぶ.....	2-4
	発信元情報を登録する	2-4
	本機の日時を設定する	2-4
2.3	必要に応じて行う作業	2-5
	よく送信するファクス番号を登録する.....	2-5

3 送信のしかた

3.1	送信する（基本的な操作の流れ）.....	3-2
3.2	送信先の状態を確認して送信する（手動送信）.....	3-5
	手動送信について	3-5
	手動送信する	3-5
3.3	宛先の指定	3-6
3.3.1	直接入力する	3-6
3.3.2	登録宛先から選ぶ	3-6
	よく使う宛先（常用）から選ぶ.....	3-6
	短縮宛先から選ぶ	3-7
	グループ宛先から選ぶ	3-7
	プログラム宛先から選ぶ	3-8
3.3.3	アドレス帳から選ぶ	3-9
3.3.4	最後に直接入力した宛先を呼出す（リダイヤル）.....	3-9
3.3.5	宛先設定を解除する	3-9
3.4	ファクス送信のオプション設定.....	3-10
3.4.1	原稿の読み込み方法の設定	3-10
	読み込む原稿のサイズを設定する（〔読み込みサイズ〕）.....	3-10
	原稿の両面を読み込む（〔片面 / 両面〕）.....	3-10
3.4.2	画質／濃度の調整	3-11
	原稿の内容に適した画質を選ぶ（〔原稿種類〕）.....	3-11
	原稿を読み込む解像度を設定する（〔解像度〕）.....	3-11
	原稿を読み込む濃度を調整する（〔濃度〕）.....	3-11
	読み込む原稿の下地の濃度を調整する（〔下地調整〕）.....	3-11
	文字などの境界をくっきりさせる（〔シャープネス〕）.....	3-12

4 こんな送信のしかたがあります

4.1	ファクスを再送信する	4-2
	自動で再送信する（オートリダイヤル）.....	4-2
4.2	発信元情報を付加せずに送信する（〔発信元設定〕）.....	4-3
	発信元情報について	4-3
	操作の流れ	4-3
4.3	時刻を指定して通信する（〔タイマー通信〕）.....	4-4
	タイマー通信について	4-4
	操作の流れ	4-4
4.4	送信先のファクス番号を確認して送信する（〔宛先確認送信〕）.....	4-5
	宛先確認送信について	4-5
	操作の流れ	4-5

4.5	親展のファクスを送信する（[F コード送信]）.....	4-6
	親展通信について	4-6
	操作の流れ	4-6
4.6	中継機を指定して送信する（[F コード送信]）.....	4-7
	中継配信について	4-7
	操作の流れ	4-7
4.7	ECM モードを解除して送信する（[ECM OFF]）.....	4-8
	ECM について	4-8
	操作の流れ	4-8
4.8	スーパー G3 モードを解除して送信する（[V34 OFF]）.....	4-9
	V34 について	4-9
	操作の流れ	4-9
4.9	1 ページずつ送信する（[クイックメモリ送信]）.....	4-10
	クイックメモリー送信について	4-10
	操作の流れ	4-10
4.10	ポーリング用のファイルを登録する（[ポーリング送信]）.....	4-11
	ポーリング送信について	4-11
	ポーリング用のファイルを登録する.....	4-11
	登録されているファイルを削除する.....	4-11
4.11	送信予約したジョブを削除する.....	4-12

5 受信のしかた

5.1	自動で受信する（ファクス専用で使う）.....	5-2
	自動受信について	5-2
	お使いになるために必要な作業（管理者向け）.....	5-2
5.2	自動で受信する（電話機を接続して使う）.....	5-3
	自動受信（TEL/FAX 自動切換え）について	5-3
	お使いになるために必要な作業（管理者向け）.....	5-3
	電話をかける／受ける	5-3
5.3	自動で受信する（留守番電話を使う）.....	5-4
	留守番電話の使用について	5-4
	お使いになるために必要な作業（管理者向け）.....	5-4
5.4	手動で受信する	5-5
	手動受信について	5-5
	お使いになるために必要な作業（管理者向け）.....	5-5
	操作の流れ	5-5

6 こんな受信のしかたがあります

6.1	受信した日時を追加して印刷する（[受信情報]）.....	6-2
	受信情報について	6-2
	お使いになるために必要な作業（管理者向け）.....	6-2
6.2	受信したファクスを他の宛先へ転送する（転送ファクス）.....	6-3
	転送ファクスについて	6-3
	お使いになるために必要な作業（管理者向け）.....	6-3
6.3	受信したファクスを印刷せずにメモリーに保存する（強制メモリー受信）.....	6-4
	強制メモリー受信について	6-4
	お使いになるために必要な作業（管理者向け）.....	6-4
	受信したファクスを印刷／削除する.....	6-4
	受信したファクスをダウンロードする.....	6-5
6.4	電話機から受信を指示する（リモート受信）.....	6-6
	リモート受信について	6-6
	お使いになるために必要な作業（管理者向け）.....	6-6
	操作の流れ	6-6
6.5	ポーリング用のファイルを受信する（ポーリング受信）.....	6-7
	ポーリング受信について	6-7
	操作の流れ	6-7
6.6	受信したファクスをメモリーに保存する（PC-FAX 受信）.....	6-8
	PC-FAX 受信について	6-8
	お使いになるために必要な作業（管理者向け）.....	6-8



	受信したファクスを印刷する	6-8
	受信したファクスをダウンロードする	6-9
6.7	夜間のファクスの印刷を停止する（夜間受信）	6-10
	夜間受信について	6-10
	お使いになるために必要な作業（管理者向け）	6-10
6.8	ファクスを両面印刷する（[受信原稿両面印刷]）	6-11
	受信原稿両面印刷について	6-11
	お使いになるために必要な作業（管理者向け）	6-11
6.9	ファクスの印刷設定をする（管理者向け）	6-12
	印刷の初期設定について	6-12
	印刷する用紙サイズを固定する（[記録用紙サイズ]）	6-12
	印刷する用紙トレイを固定する（[給紙トレイ固定]）	6-12
	不定形サイズ（縦長）のファクスを分割して印刷する（[ページ分割記録]）	6-12

7 ファクスレポートの印刷

8 よく使う宛先を登録する（短縮宛先）

短縮宛先について	8-2
ファクス宛先を登録する	8-2

9 索引



ファクス機能について

1 ファクス機能について

ファクスは、電話回線を使って、読込んだ原稿（紙の原稿）の送信や送られてきたデータの受信を行う通信機能です。本機には、ファクスに関するさまざまな機能が備わっており、原稿に合わせて読込みの設定を変更したり、受信したファクスをメモリーに保存したりすることができます。

ファクス使用時の注意は以下のとおりです。

- ファクス機能を利用するには、オプションの FAX キット、取付けキットが必要です。
- 本機を接続できる電話回線は以下のとおりです。
 - 加入電話回線（ファクス通信網を含む）
 - PBX（構内交換機 2 線式）
- カラーでのファクス通信はできません。
- 外部電話としてビジネスホンは接続できません。
- キャッチホンは併用できません。
- お客様がお使いの社内ネットワークなどで、デジタル専用線を多重化している場合は、ファクス通信の伝送速度が制限されたり、スーパー G3 による通信ができなくなる可能性があります。
- ごくまれに、工場出荷時の設定で通信エラーが発生する場合があります。これらの制約は、多重化装置が音声使用を前提に回線の使用帯域を限界まで制限しているためです。なお、ネットワークを構成する装置によってもこれらの制約は異なります。詳しくは、お客様のネットワーク管理者にお問い合わせください。

2

ファクスの準備（管理者向け）

2 ファクスの準備（管理者向け）

2.1 準備の流れ

本機を電話回線に接続する

- モジュラーケーブルの接続を確認する
- お使いの電話回線の種類を指定する
 - ダイアル方式が誤っていると通信できないため、正しく指定する必要があります。
- 構内回線（PBX）環境への接続設定をする
 - 構内回線（PBX）環境でお使いの場合は、外線番号を登録します。



ファクスの送受信環境を準備する

- ファクスの受信方法を選ぶ
 - お使いの環境に応じて、自動受信または手動受信を選びます。
- 発信元情報を登録する
 - 送信するファクスに印字する本機の名前や会社名（発信元名）と、本機のファクス番号を登録します。
- 本機の日時を設定する
 - 送受信するファクスに日時を印字するため、本機の日時を設定します。



お使いの環境に合わせて設定する

- よく送信するファクス番号を登録する
 - 送信のたびに宛先入力する手間を省けます。



準備完了

2.2 お使いになるために必要な作業

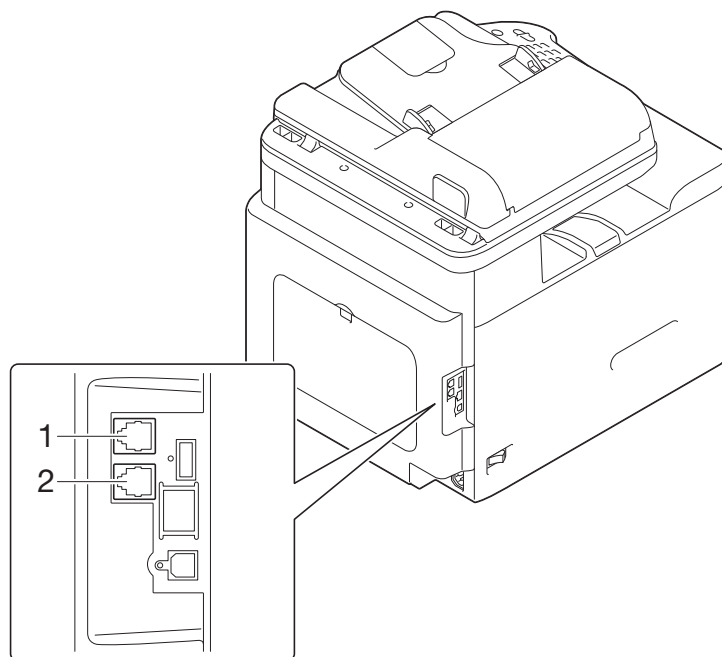
**参照**

ファクス環境の設定のしかたについて詳しくは、[すぐに使える簡単設定ガイド] の5章「本機の初期設定」をごらんください。

モジュラーケーブルの接続を確認する

本機のLINEポートに、電話回線に接続されたモジュラーケーブルが接続されていることを確認します。

TELポートは、外付け電話機のコードを接続するときに使用します。



No.	名称
1	回線コネクター (LINE)
2	外付け電話機接続用コネクター (TEL)

お使いの電話回線の種類を指定する

本機を接続する電話回線の種類（ダイヤル方式）を指定します。ダイヤル方式が誤っていると通信できないため、正しく設定する必要があります。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [ダイヤル方式]

構内回線（PBX）環境で使うための準備をする

構内回線（PBX）環境でお使いの場合は、外線番号を登録します。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [PBX 接続設定]

ファクスの受信方法を選ぶ

ファクスの受信方法には、本機が自動で受信する方法や、ユーザーが手動で受信する方法などがあります。お使いの環境に合わせて、受信方法を設定します。

- 回線をファクス専用でお使いの場合は、自動で受信するように設定しておくとう便利です。詳しくは、5-2 ページをごらんください。
- 本機に電話機を接続し、回線をファクスと電話両方でお使いになる場合は、電話の使い方に応じて、以下の機能のご使用をおすすめします。
 - ファクスは本機が自動で受信し、電話はユーザーが対応する場合は、TEL/FAX 自動切換え機能を設定しておくとう便利です。詳しくは、5-3 ページをごらんください。
 - 電話機の留守番電話機能を常にお使いになる場合は、本機の留守番電話接続設定機能を設定しておくとう便利です。詳しくは、5-4 ページをごらんください。
 - 電話の応対にお使いになることが多く、かつファクスも常に手動で受信したい場合は、手動受信の設定をしておくとう便利です。電話機から受信の指示をすることもできます。詳しくは、5-5 ページをごらんください。

発信元情報を登録する

本機の名前や会社名（発信元名）と、本機のファクス番号を登録します。

登録した情報は、送信するファクスに付加され、送信先で印刷されたファクスに発信元記録として印字されます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [発信元 / ファクス ID 登録]

本機の日時を設定する

送受信するファクスに日時を付加するため、本機の日時を設定します。設定した日時は、時刻を指定して通信するタイマー通信の基準時刻になります。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [日付 / 時刻設定]



参照

時刻の設定に NTP（Network Time Protocol）サーバーをお使いの場合は、本機の日時を自動的に調整できます。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。

2.3 必要に応じて行う作業

よく送信するファクス番号を登録する

よく送信するファクス番号は、あらかじめ本機に宛先として登録することで、送信のたびに入力する手間が省けます。

登録のしかたについて詳しくは、8-2 ページをごらんください。

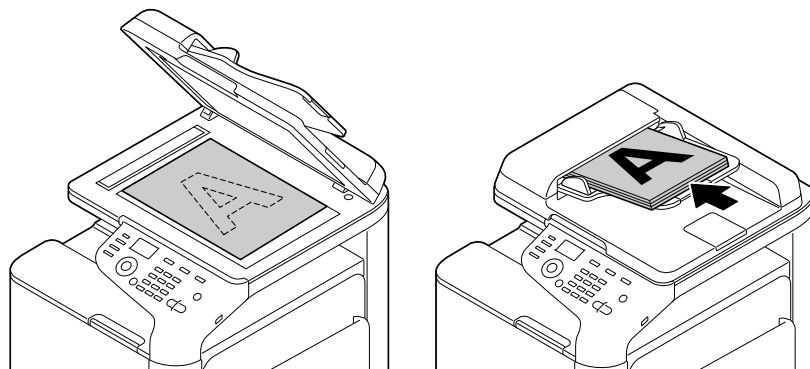


送信のしかた

3 送信のしかた

3.1 送信する（基本的な操作の流れ）

- 1 原稿をセットします。



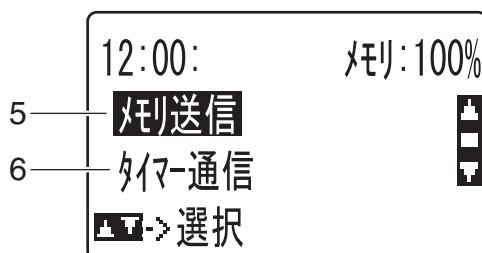
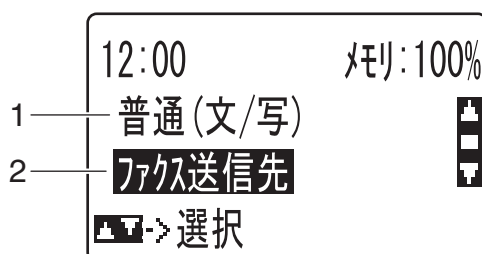
- 2 ファクスを押します。

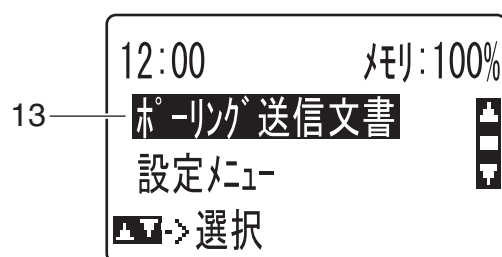
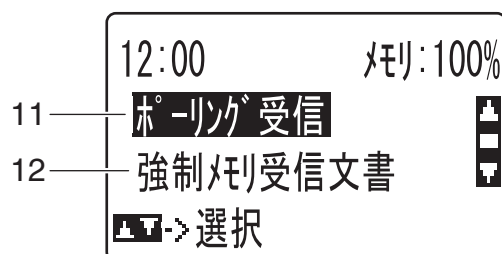
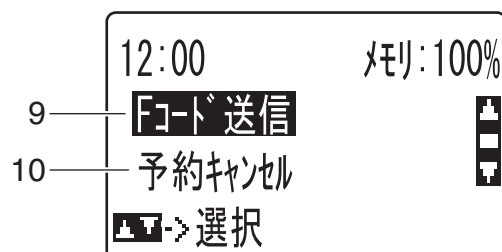
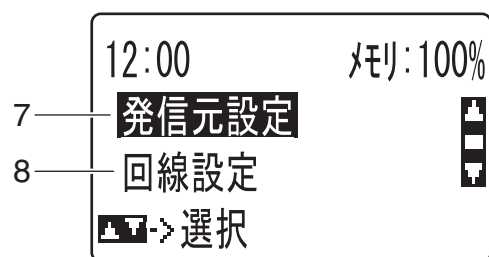
- 3 ファクス番号を指定します。

- 宛先の指定のしかたについて詳しくは、3-6 ページをごらんください。
- 複数の宛先を指定することで、ファクスの同報送信ができます。

- 4 ファクス送信のオプション設定をします。

- メイン画面（ファクスモード）で、▲/▼を押して、変更する設定を選びます。ファクスの設定については、以下の各項目をごらんください。





No.	設定	目的
1	[原稿画質]	原稿の画質（[原稿種類]、[解像度]、[濃度]、[下地調整]、[シャープネス]）を調整して読み込みます。詳しくは、3-11 ページをごらんください。
2	[ファクス送信先]	指定した宛先が表示されます。複数の宛先を指定した場合は、[順次同報] と表示されます。
3	[片面 / 両面]	原稿を読み込む面を選びます。詳しくは、3-10 ページをごらんください。
4	[読み込みサイズ]	読み込む原稿のサイズを選びます。詳しくは、3-10 ページをごらんください。
5	[送信モード]	送信モードをクイックメモリー送信またはポーリング送信に切換えます。 ・ クイックメモリー送信について詳しくは、4-10 ページをごらんください。 ・ ポーリング送信について詳しくは、4-11 ページをごらんください。
6	[タイマー通信]	タイマー通信機能を設定します。詳しくは、4-4 ページをごらんください。
7	[発信元設定]	発信元情報を付加せずに送信するための設定をします。詳しくは、4-3 ページをごらんください。

No.	設定	目的
8	[回線設定]	ECM、V34、宛先確認送信機能を設定します。 ・ ECM について詳しくは、4-8 ページをごらんください。 ・ V34 について詳しくは、4-9 ページをごらんください。 ・ 宛先確認送信について詳しくは、4-5 ページをごらんください。
9	[F コード送信]	F コード送信機能（親展送信、中継依頼）を設定します。 ・ 親展送信について詳しくは、4-6 ページをごらんください。 ・ 中継依頼について詳しくは、4-7 ページをごらんください。
10	[予約キャンセル]	送信予約したジョブを削除します。詳しくは、4-12 ページをごらんください。
11	[ポーリング受信]	ポーリング受信機能を設定します。詳しくは、6-7 ページをごらんください。
12	[強制メモリ受信文書]	強制メモリ受信したファクスを印刷、削除します。詳しくは、6-4 ページをごらんください。
13	[ポーリング送信文書]	ポーリング送信ボックスに登録されているファイルの名前を確認します。詳しくは、4-11 ページをごらんください。

5 スタートを押します。

→ 原稿の読み込み中に**ストップ/リセット**を押すと、読み込みが停止され、ジョブをキャンセルするかどうかの確認画面が表示されます。送信を中止したい場合は、ジョブのキャンセルを行ってください。

送信が開始されます。



参考

送信するファクスには、発信元情報が自動的に付加されます。



関連設定

お使いの環境に合わせて、ファクス送信のオプション設定の初期値を変更できます。

設定するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [ファクス / スキャン設定] - [ファクス初期設定]

3.2 送信先の状態を確認して送信する（手動送信）

手動送信について

手動送信は、送信先と通話したり信号音を確認したりすることで、ファクスを受信できる状態であることを確認してから送信する方法です。

送信先が受信できる状態のときに、確実に送信できます。

手動送信する

- 1 原稿をセットします。
- 2 ファクスを押します。
- 3 ファクス送信のオプション設定をします。
- 4 オンフックを押します。
 - 電話機をお使いの場合は、受話器を上げます。
- 5 [TX] が選択されていることを確認します。
- 6 ファクス番号を指定します。
 - 宛先の指定のしかたについて詳しくは、3-6 ページをごらんください。
 - 回線の種類にパルスが設定されている場合は、* を押して一時的にトーンに切換えます。
- 7 信号音が聞こえたら、スタートを押します。

送信が開始されます。電話機をお使いの場合は、受話器を戻します。

 - 原稿の読み込み中にストップ/リセットを押すと、読み込みが停止され、ジョブをキャンセルするかどうかの確認画面が表示されます。送信を中止したい場合は、ジョブのキャンセルを行ってください。

3.3 宛先の指定

3.3.1 直接入力する

宛先とするファクス番号を入力します。

- 1 メイン画面（ファクスモード）が表示されているときに、宛先とするファクス番号を**テンキー**で入力します。
 - 使用できるキーは、番号キー（0～9）、**#**、*****です。
 - **リダイヤル / ポーズ**を押すと、ポーズを挿入できます。ポーズを挿入すると、メッセージウィンドウに **[P]** と表示されます。
 - 構内回線（PBX）環境でお使いの場合は、**#**を押すと、自動的に外線へ接続します。
 - 入力内容を修正する場合は、**戻る**を押します。
- 2 **選択**を押し、宛先を確定します。
- 3 **[終了]**を選び、**選択**を押します。
 - **[追加]**を選ぶと、ファクス宛先を追加できます。
 - **[確認 / 編集]**を選ぶと、選択したファクス宛先の情報を確認できます。



参考

直接入力した宛先を編集したい場合は、メイン画面（ファクスモード）で、設定済みの宛先を選び、表示されたメニューから **[確認 / 編集]** を選びます。

3.3.2 登録宛先から選ぶ

よく使う宛先（常用）から選ぶ

本機に登録されている宛先を選びます。**[常用]**には、宛先登録時に、よく使う宛先（常用）に設定した宛先が表示されます。

- ✓ 短縮宛先の登録のしかたについて詳しくは、8-2 ページをごらんください。

- 1 メイン画面（ファクスモード）または **[アドレス帳が使えます]** が表示されているときに、**登録宛先**を押します。

常用に登録されている宛先の一覧が表示されます。
- 2 目的の宛先を選び、**選択**を押します。
- 3 **選択**を押し、宛先を確定します。
- 4 **[終了]**を選び、**選択**を押します。
 - **[追加]**を選ぶとファクス宛先を追加できます。
 - **[確認 / 編集]**を選ぶと、選択したファクス宛先の情報を確認できます。

短縮宛先から選ぶ

本機に登録されている短縮宛先を選びます。

- ✓ 短縮宛先は、250 件まで登録できます。
- ✓ 短縮宛先の登録のしかたについて詳しくは、8-2 ページをごらんください。

- 1 メイン画面（ファクスモード）または［アドレス帳が使えます］が表示されているときに、**登録宛先**を2度押します。
短縮ダイヤル番号の入力画面が表示されます。
- 2 目的の短縮ダイヤル番号（1～250）を**テンキー**で入力し、**選択**を押します。
選択した短縮宛先の名前が表示されます。
- 3 **選択**を押し、宛先を確定します。
- 4 〔終了〕を選び、**選択**を押します。
 - 〔追加〕を選ぶと、ファクス宛先を追加できます。
 - 〔確認 / 編集〕を選ぶと、選択したファクス宛先の情報を確認できます。

グループ宛先から選ぶ

本機に登録されているグループ宛先を選びます。

グループ宛先は、複数の短縮宛先をまとめて、ひとつのグループ宛先として管理できます。

- ✓ グループ宛先は、20 件まで登録できます（グループ1件あたり最大50宛先まで登録可能）。
- ✓ グループ宛先は、**Web Connection** でのみ登録できます。登録のしかたについて詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の2章「本機の使用環境を設定する」をごらんください。

- 1 メイン画面（ファクスモード）または［アドレス帳が使えます］が表示されているときに、**登録宛先**を3度押します。
グループダイヤル番号の入力画面が表示されます。
- 2 目的のグループダイヤル番号（1～20）を**テンキー**で入力し、**選択**を押します。
選択したグループ宛先の名前が表示されます。
- 3 **選択**を押し、宛先を確定します。
- 4 〔終了〕を選び、**選択**を押します。
 - 〔追加〕を選ぶと、ファクス宛先を追加できます。
 - 〔確認 / 編集〕を選ぶと、選択したファクス宛先の情報を確認できます。

プログラム宛先から選ぶ

本機に登録されているプログラム宛先を選びます。

プログラムは、よく使うオプション設定の組合わせと宛先情報を、1つの呼出しキーとして登録する機能です。

- ✓ プログラム宛先は、50 件まで登録できます。
- ✓ プログラム宛先は、**Web Connection** でのみ登録できます。登録のしかたについて詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 2 章「本機の使用環境を設定する」をごらんください。
- ✓ ファクスモードでは、スキャン送信の宛先が登録されているプログラム宛先を選択することはできません。

- 1 メイン画面（ファクスモード）または「アドレス帳が使えます」が表示されているときに、**登録宛先** を 4 度押します。

プログラムの登録番号の入力画面が表示されます。

- 2 目的のプログラム宛先の登録番号（1 ～ 50）を**テンキー**で入力し、**選択**を押します。

選択したプログラム宛先の名前が表示されます。

- 3 **選択**を押し、宛先を確定します。

- 4 「終了」を選び、**選択**を押します。

→ 「追加」を選ぶと、ファクス宛先を追加できます。

→ 「確認 / 編集」を選ぶと、選択したファクス宛先の情報を確認できます。

3.3.3 アドレス帳から選ぶ

本機に登録されている短縮宛先の一覧から目的の宛先を選びます。

- ✓ 短縮宛先を登録していない場合、この機能は使用できません。
- ✓ 短縮宛先の登録のしかたについて詳しくは、8-2 ページをごらんください。

- 1 メイン画面（ファクスモード）または［アドレス帳が使えます］が表示されているときに、登録宛先を5度押します。
- 2 ［リスト］を選び、**選択**を押します。
本機に登録されている短縮宛先の一覧が表示されます。
→ 検索機能を使用して一覧に表示する宛先を絞込むことができます。検索機能を使用する場合は、［検索］を選び、**選択**を押します。テンキーでキーワードを入力し、**選択**を押します。
検索キーワードが文字の途中に含まれている場合は検索対象外となります。
- 3 目的の宛先を選び、**選択**を押します。
- 4 **選択**を押し、宛先を確定します。
- 5 ［終了］を選び、**選択**を押します。
→ ［追加］を選ぶとファクス宛先を追加できます。
→ ［確認 / 編集］を選ぶと、選択したファクス宛先の情報を確認できます。

3.3.4 最後に直接入力した宛先を呼出す（リダイヤル）

最後に直接入力して指定した宛先を呼出します。

- 1 メイン画面（ファクスモード）または［アドレス帳が使えます］が表示されているときに、リダイヤル / ボースを押します。
- 2 目的のファクス番号が表示されたか確認し、**選択**を押します。
- 3 ［終了］を選び、**選択**を押します。
→ ［追加］を選ぶとファクス宛先を追加できます。
→ ［確認 / 編集］を選ぶと、選択したファクス宛先の情報を確認できます。

3.3.5 宛先設定を解除する

- 1 メイン画面（ファクスモード）で、設定済みの宛先を選び、**選択**を押します。
- 2 ［確認 / 編集］を選び、**選択**を押します。
- 3 設定を解除したい宛先を選び、**選択**を押します。
- 4 ストップ / リセットを押します。
- 5 ［はい］を選び、**選択**を押します。
- 6 宛先設定の解除が完了したら、**戻る**を押します。

3.4 ファクス送信のオプション設定

3.4.1 原稿の読み込み方法の設定

読み込む原稿のサイズを設定する（[読み込みサイズ]）

読み込む原稿のサイズを選びます。

- 1 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、[読み込みサイズ] の現在の設定を選び、**選択**を押します。
- 2 読み込む原稿のサイズを選び、**選択**を押します。
 - 選択できる原稿サイズは、[レター]、[リーガル]、[A4]、[8 1/2 × 13 1/2]、[長尺原稿] です。
 - [長尺原稿] は、**原稿ガラス**にセットできない、定形サイズよりも通紙方向が長い原稿（最大 500 mm）をセットするときに選びます。原稿は、**ADF**にセットします。

原稿の両面を読み込む（[片面 / 両面]）

原稿を読み込む面を選びます。

- 1 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、[片面 / 両面] の現在の設定を選び、**選択**を押します。
- 2 原稿を読み込む面を選び、**選択**を押します。

設定	説明
[片面]	原稿の片面を読み込みます。
[両面]	原稿の両面を読み込みます。

- 3 手順 2 で [両面] を選んだ場合は、原稿のとじしろを選び、**選択**を押します。

設定	説明
[長辺とじ]	原稿の左側にとじしろがあるときに選びます。
[短辺とじ]	原稿の上側にとじしろがあるときに選びます。

3.4.2 画質／濃度の調整

原稿の内容に適した画質を選ぶ（〔原稿種類〕）

原稿の記載内容に適した設定を選び、最適な画質で読み込みます。

- 1 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、〔原稿画質〕の現在の設定を選び、**選択**を押します。
- 2 〔原稿種類〕を選び、**選択**を押します。
- 3 原稿の記載内容に適した設定を選び、**選択**を押します。

設定	説明
〔文 / 写〕	文字と写真とで構成された原稿を、最適な画質で読み込みます。 文字のエッジはシャープに再現して、写真は滑らかに再現します。
〔文字〕	文字が多い原稿を、最適な画質で読み込みます。 文字のエッジをシャープに再現して、読みやすい画像にします。
〔写真〕	写真だけで構成された原稿を、最適な画質で読み込みます。

原稿を読み込む解像度を設定する（〔解像度〕）

原稿を読み込むときの解像度を選びます。

- 1 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、〔原稿画質〕の現在の設定を選び、**選択**を押します。
- 2 〔解像度〕を選び、**選択**を押します。
- 3 原稿を読み込むときの解像度を選び、**選択**を押します。

原稿を読み込む濃度を調整する（〔濃度〕）

原稿に合わせて濃度を調整して読み込みます。

- 1 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、〔原稿画質〕の現在の設定を選び、**選択**を押します。
- 2 〔濃度〕を選び、**選択**を押します。
- 3 ◀/▶ を押して、画像の濃淡を調整します。

読み込む原稿の下地の濃度を調整する（〔下地調整〕）

新聞紙や再生紙でできた原稿など、下地に色が付いている原稿の下地の濃度を調整します。

- 1 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、〔原稿画質〕の現在の設定を選び、**選択**を押します。
- 2 〔下地調整〕を選び、**選択**を押します。
- 3 ◀/▶ を押して、下地の濃度を調整します。

文字などの境界をくっきりさせる（[シャープネス]）

画像のエッジ部分を強調して、読みやすくします。画像の、ガタガタした輪郭を滑らかにしたり、ぼやけた輪郭をくっきりさせたりします。

- 1 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、[原稿画質] の現在の設定を選び、**選択**を押します。
- 2 [シャープネス] を選び、**選択**を押します。
- 3 ◀/▶ を押して、画像のエッジ部分を強調する度合いを調整します。



こんな送信のしかたがあります

4 こんな送信のしかたがあります

4.1 ファクスを再送信する

自動で再送信する（オートリダイヤル）

回線や送信先の装置の問題で正常に送信できなかったときは、一定時間経過後に自動的に再送信（リダイヤル）します。



関連設定（管理者向け）

- オートリダイヤルの回数を変更できます。
設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [オートリダイヤル回数]
- オートリダイヤルの間隔を変更できます。
設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [オートリダイヤル間隔]

4.2 発信元情報を付加せずに送信する（[発信元設定]）

発信元情報について

発信元情報とは、本機の名前や会社名（発信元名）とファクス番号などのことで、送信するファクスに自動で付加されます。

通常は発信元情報を付加して送信しますが、一時的に発信元情報を付加せずに送信することもできます。

重要

発信元情報を原稿内に印字する場合、発信元情報がファクスの画像の一部にかかり、画像が欠けることがあります。



参考

お住いの地域によってはこの機能は使用できません。



④ 関連設定（管理者向け）

発信元情報を印字する位置を指定できます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [発信元 / 受信情報] - [発信元情報]
（初期値：[原稿外]）

操作の流れ

- 1 原稿をセットします。
- 2 ファクスを押します。
- 3 宛先を指定します。
- 4 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、[発信元設定] を選び、**選択**を押します。
- 5 [OFF] を選び、**選択**を押します。
- 6 スタートを押します。
送信が開始されます。

4.3 時刻を指定して通信する（[タイマー通信]）

タイマー通信について

タイマー通信は、通信を開始する時刻を設定しておく、指定した時刻に自動的に通信を開始する機能です。

タイマー通信機能で、早朝や深夜などの電話料金割引時間帯を利用してファクス送信を予約しておく、通信コストの削減に役立ちます。



参考

タイマー通信機能を有効にすると、ポーリング送信機能、ポーリング受信機能は併用できません。

操作の流れ

- 1 原稿をセットします。
- 2 ファクスを押します。
- 3 宛先を指定します。
→ 複数の宛先をまとめて指定することもできます。
- 4 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、[タイマー通信] を選び、**選択**を押します。
- 5 通信を開始する時刻を **テンキー** で入力し、**選択**を押します。
→ 24 時間形式で入力してください。
→ 入力内容を修正する場合は、**戻る**を押します。
- 6 **スタート**を押します。
原稿の読み込みが開始されます。指定した時間になると、自動的にファクス送信が開始されます。



参考

通信開始時刻に本機の電源が OFF の場合、ファクス送信は開始されません。電源を ON にした直後にファクス送信が開始されます。



参照

送信予約したジョブをキャンセルする方法については、4-12 ページをごらんください。

4.4 送信先のファクス番号を確認して送信する（[宛先確認送信]）

宛先確認送信について

宛先確認送信は、ファクス送信に指定したファクス番号と、送信先のファクス番号情報（CSI）とを照合し、一致した場合にファクスを送信する機能です。

指定したファクス番号と送信先のファクス番号情報（CSI）が一致しない場合は通信エラーとなるため、誤送信を防止できます。



送信先の装置に自局のファクス番号が登録されている必要があります。

操作の流れ

- 1 原稿をセットします。
- 2 ファクスを押します。
- 3 宛先を指定します。
- 4 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、[回線設定] を選び、**選択**を押します。
- 5 [宛先確認送信] を選び、**選択**を押します。
- 6 [はい] を選び、**選択**を押します。
- 7 スタートを押します。
送信が開始されます。

4.5 親展のファクスを送信する（[Fコード送信]）

親展通信について

親展通信は、登録番号やパスワードが必要な親展受信ボックスを使って、特定の相手とだけ通信する機能です。

セキュリティを強化したファクス通信ができます。



参考

- 送信先の装置に F コード機能が備わっている必要があります。
- あらかじめ送信先の親展受信ボックスの登録番号と、親展受信用の通信パスワードの確認が必要です。
- 親展通信機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。
ポーリング送信、ポーリング受信



関連設定（管理者向け）

Fコード送信機能を使用するかしないか設定できます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [機能 ON/OFF 設定]
- [Fコード送信]（初期値：[ON]）

操作の流れ

- 1 原稿をセットします。
- 2 ファクスを押します。
- 3 宛先を指定します。
- 4 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、[Fコード送信] を選び、**選択**を押します。
- 5 Fコード送信機能を有効に設定したあと、[SUB アドレス] と [送信 ID] を入力し、**選択**を押します。
 - [有効] / [無効]：[有効] を選びます。
 - [SUB アドレス]：親展受信ボックスの登録番号を入力します。
 - [送信 ID]：親展受信用の通信パスワードを入力します。
- 6 スタートを押します。
送信が開始されます。

4.6 中継機を指定して送信する（[Fコード送信]）

中継配信について

中継配信は、1 通のファクスを中継機に送信すると、受信した中継機が、あらかじめ登録してあるグループ宛先に受信したファクスを配信する機能です。

中継機と配信先を地域別にグループ化して準備しておけば、すべての宛先に同報送信するよりも全体の通信費を抑えられます。遠距離へ同報送信したい場合などに有効です。



参考

- 送信先の装置（中継機）に F コード機能が備わっている必要があります。
- 本機は、ファクスを中継機に送信する機能（中継配信依頼）に対応しています。本機を中継機として使用する機能（中継配信）には対応していません。
- あらかじめ中継機に設定された中継用ボックスの登録番号と、中継配信用のパスワードの確認が必要です。
- 中継配信機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。
ポーリング送信、ポーリング受信



関連設定（管理者向け）

F コード送信機能を使用するかしないか設定できます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [機能 ON/OFF 設定]
- [F コード送信]（初期値：[ON]）

操作の流れ

- 1 原稿をセットします。
- 2 ファクスを押します。
- 3 宛先を指定します。
- 4 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、[F コード送信] を選び、**選択**を押します。
- 5 F コード送信機能を有効に設定したあと、[SUB アドレス] と [送信 ID] を入力し、**選択**を押します。
 - [有効] / [無効]：[有効] を選びます。
 - [SUB アドレス]：中継用ボックスの登録番号を入力します。
 - [送信 ID]：中継配信用のパスワードを入力します。
- 6 スタートを押します。

中継機への送信が開始されます。中継機で受信されたファクスは、中継機で登録されている配信先へ配信されます。

4.7 ECM モードを解除して送信する（[ECM OFF]）

ECM について

ECM（Error Correction Mode）は、ITU-T（国際電気通信連合）で定められた誤り再送方式です。

ECM に対応したファクス機の間では、送ったファクスのデータに誤りがないことを確認しながら通信が行われるため、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防止できます。

本機は、初期設定では ECM を使った通信を行います。雑音が多い場合は ECM を使わない場合と比べて、通信時間が若干長くなることがあります。通信時間を短縮したい場合は、ECM を解除して送信することもできます。ただし、画像の乱れや通信エラーの原因となる場合がありますので、状況に応じて設定を変更してください。



参考

ECM 機能を解除すると、以下の機能は併用できません。
V34 OFF、ポーリング送信、ポーリング受信

操作の流れ

- 1 原稿をセットします。
- 2 ファクスを押します。
- 3 宛先を指定します。
- 4 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、[回線設定] を選び、**選択**を押します。
- 5 [ECM OFF] を選び、**選択**を押します。
- 6 [はい] を選び、**選択**を押します。
- 7 スタートを押します。
送信が開始されます。

4.8 スーパー G3 モードを解除して送信する（[V34 OFF]）

V34 について

V34 は、スーパー G3 のファクス通信に使われる通信方式です。

A4 原稿 1 ページが約 3 秒の高速で送られるため、通信時間を短縮して、通信コストを削減できます。

本機は、初期設定では V34 を使った通信を行います。送信先または本機が PBX 回線に接続されている場合など、回線の状況によってスーパー G3 モードで通信できない場合は、V34 を解除して送信することもできます。



参考

V34 機能を解除すると、以下の機能は併用できません。
ECM OFF、ポーリング送信、ポーリング受信

操作の流れ

- 1 原稿をセットします。
- 2 ファクスを押します。
- 3 宛先を指定します。
- 4 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、[回線設定] を選び、**選択**を押します。
- 5 [V34 OFF] を選び、**選択**を押します。
- 6 [はい] を選び、**選択**を押します。
- 7 スタートを押します。
送信が開始されます。

4.9 1 ページずつ送信する（[クイックメモリ送信]）

クイックメモリー送信について

クイックメモリー送信は、原稿を 1 ページ読取ると同時にファクス送信を開始する方法です。発信元記録に総ページ数を入れることもできます。

本機は、通常、原稿をすべて読込んでメモリーに蓄積してから送信を開始しますが（メモリー送信）、クイックメモリー送信を使うことで、全体の処理時間を短縮できます。また、原稿の枚数が多い場合にも、メモリーオーバーすることなく送信できます。



参考

クイックメモリー送信機能を有効にすると、タイマー通信機能は併用できません。

操作の流れ

- 1 原稿をセットします。
- 2 ファクスを押します。
- 3 宛先を指定します。
- 4 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、[送信モード] の現在の設定を選び、**選択**を押します。
- 5 [クイックメモリ送信] を選び、**選択**を押します。
- 6 クイックメモリー送信機能を有効に設定したあと、[原稿枚数指定] を設定し、**選択**を押します。
 - [ON/OFF] : [ON] を選びます。
 - [原稿枚数指定] : 発信元記録に総ページ数を入れる場合は、**テンキー**で枚数を入力します。
- 7 **スタート**を押します。

原稿を 1 ページ読取ると同時に、送信が開始されます。

4.10 ポーリング用のファイルを登録する（[ポーリング送信]）

ポーリング送信について

ポーリング送信は、受信側からの受信指示（ポーリング指示）で送信するファイルを、あらかじめ内蔵ハードディスクに蓄積（登録）しておく機能です。

ポーリング用のファイルは、ポーリング送信ボックスに登録され、ポーリング指示を受けると送信されます。

ポーリング送信ボックスには、1 ファイルだけ登録できます。



参考

ポーリング送信機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。

タイマー通信、F コード送信、ECM OFF、V34 OFF、クイックメモリー送信、ポーリング受信

ポーリング用のファイルを登録する

ポーリング送信を実行し、ポーリング送信ボックスにファイルを登録します。

- 1 原稿をセットします。
- 2 ファクスを押します。
- 3 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、[送信モード] の現在の設定を選び、**選択**を押します。
- 4 [ポーリング送信] を選び、**選択**を押します。
- 5 [文書登録] を選び、**選択**を押します。
 - 登録されているファイルを印刷する場合は、[文書印刷] を選び、[はい] に設定します。
 - 登録されているファイルを削除する場合は、[文書削除] を選び、[はい] に設定します。
- 6 スタートを押します。

ポーリング送信ボックスにファイルが登録されます。

登録されているファイルを削除する

ポーリング送信ボックスに登録されているファイルを削除できます。

- 1 ファクスを押します。
- 2 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、[ポーリング送信文書] を選び、**選択**を押します。
- 3 登録されているファイルを削除する場合は、**選択**を押し、[はい] を選びます。

4.11 送信予約したジョブを削除する

タイマー送信や同報送信などの送信待ちのジョブは、送信が実行されるまで本機のメモリーに蓄積されます。メモリーに蓄積されているジョブを指定して削除できます。

- 1 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、[予約キャンセル] を選び、**選択**を押します。
- 2 送信を中止したいジョブを選び、**選択**を押します。
- 3 [はい] を選び、**選択**を押します。
選択したジョブが削除されます。



受信のしかた

5 受信のしかた

5.1 自動で受信する（ファクス専用で使う）

自動受信について

自動受信は、一定回数の呼出音が鳴ると、ファクスを自動的に受信する方法です。
回線をファクス専用でお使いになる場合は、自動受信に設定しておくと便利です。

お使いになるために必要な作業（管理者向け）

自動受信するには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [受信方式] を [自動受信] に設定する（初期値：[自動受信]）
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [着信回数設定] で、自動受信を開始するまでの呼出音の回数を設定する

5.2 自動で受信する（電話機を接続して使う）

自動受信（TEL/FAX 自動切換え）について

本機に電話機を接続し、回線をファクスと電話両方でお使いになる場合は、TEL/FAX 自動切換え機能を使うと便利です。

TEL/FAX 自動切換え機能は、着信がファクスなのか電話なのかを自動的に検知する機能です。着信がファクスのときは、自動的にファクスの受信を開始します。着信が電話のときは、電話機の呼出音が鳴り、受話器を上げると通話できます。



参考

- 着信があると、音声メッセージ 1、呼出音、音声メッセージ 2 の順に音声が流れ、その間に検知が行われます。音声メッセージは、次のとおりです。
音声メッセージ 1：「電話の方はしばらくお待ちください。ファクスの方はスタートボタンを押してください。」
音声メッセージ 2：「ただいま近くにおりません。ファクスに切換えます。」
- 音声メッセージ 2 が流れたあとは、ファクスの受信状態に切り替わります。
- 呼出音が鳴っているときに受話器を上げ、「ピー」という音が聞こえたり、音が聞こえなかったりした場合は、ファクスの着信です。受話器を上げたまま**スタート**を押すとファクスを受信できます。

お使いになるために必要な作業（管理者向け）

自動受信（TEL/FAX 自動切換え）するには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [受信方式] を [自動受信] に設定する（初期値：[自動受信]）
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [TEL/FAX 自動切換え] を [ON] に設定する（初期値：[OFF]）
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [留守番電話接続設定] を [OFF] に設定する（初期値：[OFF]）



関連設定（管理者向け）

- 外出時などに電話機の留守番電話機能をお使いになる場合、本機の [外部 TEL 呼出時間] の設定を、電話機の留守番電話が応答するまでの時間より長くなるように設定する必要があります。[外部 TEL 呼出時間] で設定した時間が短いと、留守番電話が応答する前に本機がファクス受信を開始します。設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [外部 TEL 呼出時間]（初期値：[20] 秒）
- TEL/FAX 自動切換え時に音声メッセージを流すかどうかを設定できます。設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [TEL/FAX 切換音声]（初期値：[OFF]）

電話をかける／受ける

電話をかける場合は、電話機の手話器を上げ、ダイヤルします。通話が終了したら手話器を戻します。

電話を受ける場合は、電話の呼出音が鳴ったら、手話器を上げて通話します。通話が終了したら手話器を戻します。



参考

呼出音が鳴っているときに手話器を上げ、「ピー」という音が聞こえたり、音が聞こえなかったりした場合は、ファクスの着信です。手話器を上げたまま**スタート**を押すとファクスを受信できます。

5.3 自動で受信する（留守番電話を使う）

留守番電話の使用について

本機に留守番電話機能付き電話機を接続し、回線をファクスと電話両方でお使いになる場合、留守番電話接続設定機能を利用できます。留守番電話機能を常にお使いになる場合は、留守番電話接続設定機能を使うと便利です。

留守番電話接続設定機能は、着信がファクスなのか電話なのかを自動的に検知して、着信がファクスのときは自動的にファクスの受信を開始し、着信が電話のときは留守番電話のメッセージを再生する機能です。



参考

- 着信があると、留守番電話のメッセージが流れ、その間に検知が行われます。
- 電話機でメッセージ録音が始まると、本機はファクスの受信状態に切換わります。
- 電話機の留守番電話機能が設定されていないなど留守番電話が応答しない場合は、約 20 秒後にファクスの受信が開始されます。

お使いになるために必要な作業（管理者向け）

留守番電話機能を使うには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [受信方式] を [自動受信] に設定する（初期値：[自動受信]）
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [TEL/FAX 自動切換え] を [OFF] に設定する（初期値：[OFF]）
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [留守番電話接続設定] を [ON] に設定する（初期値：[OFF]）

5.4 手動で受信する

手動受信について

手動受信は、着信したファクスをオンフックキーを使って手動で受信する方法です。本機に電話機を接続し、回線をファクスと電話両方でお使いになる場合、電話を使う機会が多く、かつファクスも常に手動で受信したいときに便利です。

電話機を接続している場合は、着信があると着信が電話でもファクスでも電話機の呼出音が鳴ります。呼出音が鳴ったら受話器を上げ、着信を確認したあとでファクスを確実に受信できます。

お使いになるために必要な作業（管理者向け）

手動受信するには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [受信方式] を [手動受信] に設定する（初期値：[自動受信]）

操作の流れ

- 1 ファクスを押します。
- 2 オンフックを押します。
→ 電話機をお使いの場合は、受話器を上げます。
- 3 ▲/▼ を押して、[RX] に設定します。
- 4 スタートを押します。
受信が開始されます。電話機をお使いの場合は、受話器を戻します。

6

こんな受信のしかたがあります

6 こんな受信のしかたがあります

6.1 受信した日時を追加して印刷する（[受信情報]）

受信情報について

受信情報とは、ファクスを受信した日時、受信した順に付与する番号（受信番号）、ページ番号を示しています。

受信情報は、必要に応じて印刷時に印字します。

お使いになるために必要な作業（管理者向け）

受信情報を印字するには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [発信元 / 受信情報] - [受信情報] で、受信情報を印字する位置を選ぶ（初期値：[OFF]）

6.2 受信したファクスを他の宛先へ転送する（転送ファクス）

転送ファクスについて

転送ファクスは、受信したファクスを、あらかじめ設定しておいた宛先（ファクス宛先、E-mail 宛先）へ転送する機能です。

受信したファクスをコンピュータで扱えるファイルに変換できるため、印刷コストの削減にもなります。



参考

- E-mail 宛先への転送時のファイル形式は TIFF となります。
- 転送ファクス機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。
強制メモリー受信、PC-FAX 受信、夜間受信

お使いになるために必要な作業（管理者向け）

転送ファクス機能を使用するには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [転送ファクス設定] - [使用設定] で、転送ファクス機能を有効にする（初期値：[OFF]）
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [転送ファクス設定] - [転送先] で、転送先を登録する
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [転送ファクス設定] - [出力機能] で、ファクスの転送時に本機で印刷するかどうかを設定する（初期値：[不達時のみ印刷]）

6.3 受信したファクスを印刷せずにメモリーに保存する（強制メモリー受信）

強制メモリー受信について

強制メモリー受信は、受信したファクスを印刷せずに本機のメモリーに保存する機能です。



参考

強制メモリー受信機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。
転送ファクス、PC-FAX 受信、夜間受信

お使いになるために必要な作業（管理者向け）

強制メモリー受信機能を使用するには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [強制メモリー受信設定] で、強制メモリー受信機能を有効にしてから、受信したファクスにアクセスするためのパスワードを設定する（初期値：[OFF]）

受信したファクスを印刷／削除する

受信したファクスは、強制メモリー受信ボックスにアクセスして印刷または削除ができます。

- 1 ファクスを押します。
- 2 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、[強制メモリー受信文書] を選び、**選択**を押します。
- 3 受信したファクスにアクセスするためのパスワードを入力し、**選択**を押します。
- 4 印刷したいファクスを選び、**スタート**を押します。
→ **選択**を押すと、選んだファクスを削除できます。
印刷が開始されます。



参考

印刷されたファクスは、メモリーから消去されます。

受信したファクスをダウンロードする

Web Connection を使えば、受信したファクスをお使いのコンピューターにダウンロードできます。また、印刷や削除、詳細情報の確認もできます。

- 1 Web ブラウザーを使って Web Connection へアクセスします。
 - Web ブラウザーの URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力してキーボードの Enter を押します。
http:// <本機の IP アドレス> /
- 2 パブリックユーザーまたは登録ユーザーのアカウントでログインします。
 - 管理者のアカウントでログインしても同じ操作ができます。
- 3 [ストレージ] タブの [PC-Fax] をクリックします。
- 4 受信したファクスにアクセスするためのパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
 - パスワードが設定されていない場合は、手順 5 へ進みます。
 - メモリーに保存されているファクスの一覧が表示されます。
- 5 ダウンロードしたいファクスの欄の [コピー] をクリックします。
 - サムネイルまたはファイル名をクリックすると、選択したファイルの詳細情報が表示されます。
 - [プリント] をクリックすると、選択したファイルを印刷できます。
 - [削除] をクリックすると、選択したファイルを削除できます。
 - ダウンロードが開始されます。



参照

Web Connection の使い方について詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。



参考

本機が受信したファクスを、Web Connection を使ってコンピューターにダウンロードするには、本機にオプションのハードディスクを装着する必要があります。

6.4 電話機から受信を指示する（リモート受信）

リモート受信について

リモート受信は、電話機を接続して本機をお使いの場合に、電話機のダイヤルでファクスの手動受信を操作する機能です。

ファクスの手動受信は**操作パネル**でも操作できますが、電話機をお使いの場合は、受話器を上げてそのまま受信を指示できるので便利です。



参考

- リモート受信機能は、ファクスの受信方式が手動受信の場合だけお使いいただけます。
- ダイヤル（パルス）回線でリモート受信するには、電話機でトーンに切換える必要があります。この機能を持たない電話機ではリモート受信できません。詳しくは、電話機のマニュアルをごらんください。

お使いになるために必要な作業（管理者向け）

リモート受信機能を使用するには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [リモート受信設定] で、リモート受信機能を有効にしてから、受信指示用の番号（リモート受信番号）を登録する（初期値：[OFF]）

操作の流れ

- 1 電話機の呼出音が鳴ったら受話器を上げ、通信がファクスであることを確認します。
- 2 電話機から、2桁の受信指示用の番号（リモート受信番号）をダイヤルします。
受信が開始されます。受信が開始されたら受話器を戻します。

6.5 ポーリング用のファイルを受信する（ポーリング受信）

ポーリング受信について

ポーリング受信は、送信元でポーリング用に登録されているファイルを、本機から指示して受信する機能です。

ポーリング受信する場合、通信料金は受信側が負担します。



参考

ポーリング受信機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。
タイマー通信、F コード送信、ECM OFF、V34 OFF、クイックメモリー送信、ポーリング送信



参照

ポーリング送信機能を使って、本機のポーリング送信ボックスにファイルを登録することもできます。
ポーリング送信機能について詳しくは、4-11 ページをごらんください。

操作の流れ

- 1 ファクスを押します。
- 2 宛先を指定します。
- 3 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、[ポーリング受信] を選び、**選択**を押します。
- 4 [有効] を選び、**選択**を押します。
- 5 スタートを押します。
受信が開始されます。

6.6 受信したファクスをメモリーに保存する（PC-FAX 受信）

PC-FAX 受信について

PC-FAX 受信は、受信したファクスをメモリーに保存する機能です。保存されたファクスは、印刷やダウンロードができます。



参考

PC-FAX 受信機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。
強制メモリー受信、転送ファクス、夜間受信

お使いになるために必要な作業（管理者向け）

PC-FAX 受信機能を使用するには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [PC-FAX 受信設定] - [使用設定] で、PC-FAX 受信機能を有効にする（初期値：[許可しない]）
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [PC-FAX 受信設定] - [受信後印刷] で、ファクス受信後に本機で印刷するかどうかを設定する

受信したファクスを印刷する

受信したファクスは、強制メモリー受信ボックスにアクセスして印刷または削除ができます。

- 1 ファクスを押します。
- 2 メイン画面（ファクスモード）で ▲/▼ を押して、[強制メモリー受信文書] を選び、**選択**を押します。
- 3 印刷したいファクスを選び、**スタート**を押します。
→ **選択**を押すと、選んだファクスを削除できます。
印刷が開始されます。



参考

印刷されたファクスは、メモリーから消去されます。

受信したファクスをダウンロードする

Web Connection を使えば、受信したファクスをお使いのコンピューターにダウンロードできます。また、印刷や削除、詳細情報の確認もできます。

- 1 Web ブラウザーを使って Web Connection へアクセスします。
 - Web ブラウザーの URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力してキーボードの Enter を押します。
http:// <本機の IP アドレス> /
- 2 パブリックユーザーまたは登録ユーザーのアカウントでログインします。
 - 管理者のアカウントでログインしても同じ操作ができます。
- 3 [ストレージ] タブの [PC-Fax] をクリックします。
- 4 受信したファクスにアクセスするためのパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
 - パスワードが設定されていない場合は、手順 5 へ進みます。メモリーに保存されているファクスの一覧が表示されます。
- 5 ダウンロードしたいファクスの欄の [コピー] をクリックします。
 - サムネイルまたはファイル名をクリックすると、選択したファイルの詳細情報が表示されます。
 - [プリント] をクリックすると、選択したファイルを印刷できます。
 - [削除] をクリックすると、選択したファイルを削除できます。ダウンロードが開始されます。



参照

Web Connection の使い方について詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。



参考

本機が受信したファクスを、Web Connection を使ってコンピューターにダウンロードするには、本機にオプションのハードディスクを装着する必要があります。

6.7 夜間のファクスの印刷を停止する（夜間受信）

夜間受信について

夜間受信は、あらかじめ設定した夜間時間帯に受信したファクスの印刷を禁止する機能です。

夜間時間帯に受信したファクスは、設定した夜間時間帯の終了後にまとめて印刷されます。



参考

夜間受信機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。
強制メモリー受信、転送ファクス、PC-FAX 受信

お使いになるために必要な作業（管理者向け）

夜間受信機能を使用するには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [夜間受信設定] - [夜間受信使用設定] で、夜間受信機能を有効にする（初期値：[OFF]）
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [夜間受信設定] - [夜間受信開始時刻] で、夜間時間帯の開始時刻を指定する
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [夜間受信設定] - [夜間受信終了時刻] で、夜間時間帯の終了時刻を指定する

6.8 ファクスを両面印刷する（[受信原稿両面印刷]）

受信原稿両面印刷について

複数ページのファクスを受信したとき、用紙の両面に印刷します。これにより用紙を節約できます。

お使いになるために必要な作業（管理者向け）

両面印刷機能を使用するには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [送信 / 受信設定] - [受信原稿両面印刷] で、両面印刷機能を有効にする（初期値：[OFF]）

6.9 ファクスの印刷設定をする（管理者向け）

印刷の初期設定について

受信したファクスは、ファクスのサイズによって、次の条件で印刷されます。

A4 などの定形サイズで受信したファクスは、受信したファクスと同じ定形サイズ用の紙に、少し縮小して印刷します（初期値：96%）。

定形サイズより縦長のファクスは、ファクスの幅と長さから、最適な用紙サイズを決定し、そのサイズの用紙に印刷します。最適なサイズの用紙がセットされていない場合は、近いサイズの用紙に収まるように印刷します。



参考

必要に応じて、受信したファクスを印刷するときの縮小率を変更できます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [送信 / 受信設定] - [縮小率]（初期値：96%）

印刷する用紙サイズを固定する（[記録用紙サイズ]）

受信したファクスの用紙サイズの大小にかかわらず、常に指定したサイズの用紙に印刷できます。

受信したファクスより、印刷するサイズに指定した用紙のサイズが小さいときは、印刷する用紙サイズに合わせて縮小して印刷します。

印刷する用紙サイズを固定する場合は、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [送信 / 受信設定] - [記録用紙サイズ] で、印刷する用紙サイズを指定する（[A4]）

印刷する用紙トレイを固定する（[給紙トレイ固定]）

受信したファクスの用紙サイズの大小にかかわらず、常に指定したトレイにセットした用紙に印刷できます。

受信したファクスより、指定したトレイにセットした用紙のサイズが小さいときは、トレイにセットした用紙サイズに合わせて縮小して印刷します。

印刷する用紙トレイを固定する場合は、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [送信 / 受信設定] - [給紙トレイ固定] で、給紙トレイを指定する（初期値：[自動]）



参考

- [給紙トレイ固定] でトレイを指定すると、[記録用紙サイズ] の設定は無視します（[記録用紙優先選択] が強制的に [自動選択] に切り替わります）。
- [縮小率] を 100%（等倍）にすると、[給紙トレイ固定] は強制的に [自動] に切り替わります。

不定形サイズ（縦長）のファクスを分割して印刷する（[ページ分割記録]）

定形サイズより縦長のファクスは、縮小して印刷せずに、定形サイズに収まらない分を、次ページとして印刷します。

ページ分割を行う場合は、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [送信 / 受信設定] - [ページ分割記録] で、ページ分割記録を有効にする（初期値：[OFF]）



参考

- [縮小率] を 100%（等倍）にすると、[ページ分割記録] は強制的に [OFF] に切り替わり、収まらない部分を次ページ扱いせず、除外して印刷します。
- [受信原稿両面印刷] が [ON] の場合、[ページ分割記録] は使えません。

7

ファクスレポートの印刷

7 ファクスレポートの印刷

ファクスに関するレポートには、次の種類があります。条件を満たすと自動で印刷されるレポートと、手動で印刷するレポートがあります。

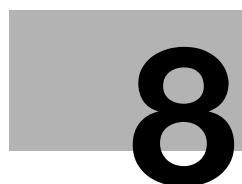
レポート名	説明
通信管理レポート	ファクスを送信／受信した結果を記載したレポートです。送受信合わせて 100 件分を、送信と受信それぞれ別ページに記録します。通信管理レポートは、自動で印刷されるだけでなく、必要に応じて、送信だけの記録、受信だけの記録を印刷することもできます。初期設定では、100 通信ごとに自動的に印刷します。
送信結果レポート	ファクスの送信結果を記載したレポートです。初期設定では、送信に失敗したときに自動的に印刷します。
ポーリング送信結果レポート	ポーリング送信した結果を記載したレポートです。初期設定では、ポーリング送信に失敗したときに自動的に印刷します。
ポーリング受信結果レポート	ポーリング受信した結果を記載したレポートです。初期設定では、ポーリング受信に失敗したときに自動的に印刷します。
同報送信結果レポート	同報送信した結果を記載したレポートです。初期設定では、同報送信が終了すると自動的に印刷します。
予約レポート	ファクス送信の予約記録を記載したレポートです。初期設定では、ファクス送信の予約をすると自動的に印刷します。
ポーリング送信予約レポート	ポーリング送信する予約記録を記載したレポートです。初期設定では、ポーリング送信の予約をすると自動的に印刷します。
同報送信予約レポート	同報送信する予約記録を記載したレポートです。初期設定では、同報送信を予約すると自動的に印刷します。
1 宛先ポーリング受信予約レポート	1 つの宛先からポーリング受信する予約記録を記載したレポートです。初期設定では、1 つの宛先からポーリング受信する予約をすると自動的に印刷します。
設定値リスト	[ファクス設定] の設定内容を記載したリストです。



関連設定（管理者向け）

必要に応じて、各種ファクスレポートの印刷条件を変更できます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [レポート出力設定]



よく使う宛先を登録する（短縮
宛先）

8 よく使う宛先を登録する（短縮宛先）

短縮宛先について

よく送信する宛先を本機に登録することで、送信のたびに宛先を入力する手間が省けます。本機に登録した宛先を、短縮宛先と呼びます。

短縮宛先は、250 件まで登録できます。



関連設定（管理者向け）

ユーザーに対して、宛先の登録や変更を許可するかどうかを選べます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [ユーザー操作禁止設定] - [登録宛先変更]（初期値：[許可]）



参照

短縮宛先は Web Connection でも登録できます。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 2 章「本機の使用環境を設定する」をごらんください。

ファクス宛先を登録する

宛先とするファクス番号を登録します。

- 1 [設定メニュー] - [宛先登録] - [ファクス] を選び、**選択**を押します。
- 2 登録する短縮ダイヤル番号を**テンキー**で入力し、**選択**を押します。
- 3 [登録名] を入力し（72 文字以内）、**選択**を押します。
- 4 [常用]（よく送信する宛先）に設定する場合は **はい** を選び、**選択**を押します。
- 5 宛先とするファクス番号を入力し、**選択**を押します。
 - 使用できるキーは、番号キー（0～9）、#、* です。
 - リダイヤル / ポーズを押すと、ポーズを挿入できます。ポーズを挿入すると、メッセージウィンドウに [P] と表示されます。
 - 構内回線 (PBX) 環境でお使いの場合は、# を押すと、自動的に外線へ接続します。
 - 入力内容を修正する場合は、**戻る**を押します。



参考

登録済みの宛先の短縮ダイヤル番号を入力して**選択**を押すと、宛先の編集または削除ができます。

- 登録した宛先を編集する場合は、[編集] を選び、登録内容を編集します。
- 登録した宛先を削除する場合は、[削除] を選びます。

9

索引

9 索引

E

ECM OFF 4-8

F

Fコード送信 4-6, 4-7

P

PC-FAX 受信 6-8

T

TEL/FAX 自動切換え 5-3

V

V34 OFF 4-9

あ行

宛先確認送信 4-5

宛先登録 8-2

 ファクス宛先 8-2

宛先の指定 3-6

 アドレス帳 3-9

 解除 3-9

 グループ宛先 3-7

 常用 3-6

 短縮宛先 3-7

 直接入力 3-6

 プログラム 3-8

オートリダイヤル 4-2

か行

解像度 3-11

片面 / 両面 3-10

強制メモリー受信 6-4

クイックメモリー送信 4-10

原稿サイズ 3-10

原稿種類 3-11

さ行

下地調整 3-11

自動受信 5-2

シャープネス 3-12

受信原稿両面印刷 6-11

受信情報 6-2

手動受信 5-5

手動送信 3-5

親展通信 4-6

設定 3-10

た行

タイマー通信 4-4

短縮宛先 8-2

中継配信 4-7

転送ファクス 6-3

な行

濃度 3-11

は行

発信元情報 4-3

ファクス機能

 概要 1-2

 準備 2-2

 送信のしかた 3-2

ポーリング受信 6-7

ポーリング送信 4-11

や行

夜間受信 6-10

読み込みサイズ 3-10

ら行

リモート受信 6-6

留守番電話 5-4

レポート 7-2



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社
製造元
コニカミノルタ株式会社